

分の思ふ鑄型に入れ様とするは無理である、姑と嫁との不和は主として斯る場合に生ずるのであります、故に姑は道理に外れぬ範圍に於て嫁に自由を與へ、些事は成るべく互に忍耐をするを可いと思ひます、或老人は曰はれました、子に向つて親に恩を返せと迫るは無理也、子は其子を養育するの重任を帯べりと、味ふべき言葉で、嫁の心をも亦察して居る人であると云ふ事が明瞭に讀まれます、又或人は娘を嫁に遣はすに際つて、夫の愛せらるゝよりも、先其親に愛せらるゝ様心掛けよと申されました、是等は夫々味ひて興味の盡きぬ話でありますが、授實際に臨んでは何れも至難な事柄であります。

之を要するに姑は嫁を愛し、嫁は姑を敬するは勿論でありますが、其間に生ずる萬般の事、譬へば不利の動機となる様な場品に、互に忍耐を以て成るべく自己を制する事は、家庭を圓滿にして幸福なる一生を送る最上の方法であると思ひます而し

て此難關を切り抜けた人は、世に立つても、立派なもので、忍耐をした、苦勞をしたと云ふ人と、然らざる人とは、誰の目に見ても玉と石との差のある事は争はれぬ事實であります。

◎偉人の母は皆田舎に住めり

下田歌子

男子とは違つて女子が家を飛び出して一人よるべなき都の空にあこがれるのは餘り同情されません。其の理由は自分勝手に出京いたした女學生は十中の八九はわたり者が両親のもてあまし者か、兎に角餘り感心の出来ぬ者の方が多いやうであります。一體女子が學問して豪い者になるのは先づ格外であります、今更改めて申迄もありませんが、樂しき家庭の主婦となり、夫を助け、子女に完全なる家庭教育を授けて、茲にはじめて社會有益なる人物を作るところの隠れたる家庭教師となるのであります。樂しきホームを作つたり或は人物を生ずるば必ずしも都に限る譯ではありません。

ワシントンには實に世界的偉人であります。其お母さんの事を見ますると、いつも生地の小村に潛んで、家事を整理し、愛兒を撫育するの任を重んじて、一度だに都の地に足踏みした事はありませんでしたが、其子は英名を世界に轟し又米國をして今日の如く富強ならしめたる大政治家となつたのであります。諸葛孔明の妻はさぞ豪い行ひでもあつた者のやうに思われますが、さうではなく片舎田に多くの桑畑を所有して婦女のする業に就て居りまして又我國では楠公の母公は河内の生地を離れた事のない方でありました、古今東西英雄の母たり妻たる人は唯々女子の本分をよく務めたと云ふ一點であつて、其結果として世界的豪傑歴史に有名な人物を出しました。